



研修初日(9.12)

①
まもなく研修がスタートします。
今回は、1都10県の受注者の皆さまが研修生です。



②
中澤文彦利根沼田森林管理署長の開講挨拶で研修が始まりました。



③
続いて講師紹介です。
左から鎌滝講師(株式会社 森林テクニクス)、中島講師(関東森林管理局)、澤井講師(関東森林管理局)、森谷講師(林野庁)



④
講師紹介の後、すぐに講義がスタートです。
「新たな路網の整備について」の講義です。
森林整備には路網の整備が必要不可欠です。



⑤
スライドで分かり難い事柄はDVDの映像を交えて説明します。



⑥
講義の後にはグループ演習です。班に分かれて作業をします。



⑦
森谷講師から演習の説明をしています。
今日は机上で路線の線形を検討し、明日は現地確認を行います。



⑧
各班とも熱心な議論が続きます。



研修2日目(9.13)

①
2日目は現地研修です。午前中は昨日図面で検討した路線の現地の確認を行います。



②
班に分かれて現地を踏査し、質問等に答えられるよう講師も同行します。



③
机上で問題となった箇所をチェック
します。



④
路線終点です。
班毎に始点から終点まで踏査した
結果を整理します。



⑤
帰路は全員でポイントとなる箇所
を見て帰ります。
研修生の質問には講師が答えま
す。



⑥
実際に現地を確認することで改良
点等が見えてきます。



⑦
特に工作物は設置もメンテナンス
も経費がかかることから、必要性
について十分な検討が必要となり
ます。



⑧
午後からは別の現場に移動です。



⑨
コンクリート土嚢を用いた工法。初
めて目にした方も多そうです。



⑩
沢の渡り方について他に方法がな
かったのか検討しています。



⑪
ポイント毎に講師から改良点等
について説明をします。

研修最終日(9.14)



① あっという間に研修最終日となりました。昨日の現地調査を振り返り、各班発表します。森谷講師から発表についての説明です。



② 発表です。当初、図面でどのように考え、現地を見てどのように改善したか等について、発表します。



③ どのような理由でこのような線形になったのか等、考え方を共有します。



④ 班によって様々な意見、考え方が出てきました。



⑤ 発表後は鎌滝講師による設計のポイントについて説明を行いました。



⑥ いよいよ最後の講義です。路網設計上の留意点等についてのまとめです。



⑦ 講義も終わり、最後に研修全体を通じた質疑応答です。色々な質問があります。



⑧ 質問にはできる限りその場で返答し、確認が必要な質問は後日メール等で回答します。



⑨ 最後に記念写真です。